



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月7日

上場会社名 スズデン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7480 URL <http://www.suzuden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 篤史

問合せ先責任者 (役職名) iクリエイト部長 (氏名) 安岳 宗吉

TEL 03-5689-8001

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

平成29年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,661	24.6	779	109.8	914	91.5	605	97.5
29年3月期第2四半期	18,989	4.0	371	38.4	477	33.1	306	32.3

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 627百万円 (115.7%) 29年3月期第2四半期 291百万円 (33.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	43.79	43.65
29年3月期第2四半期	20.99	20.92

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	28,918	16,045	55.5	1,159.06
29年3月期	28,120	15,899	56.5	1,149.47

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,042百万円 29年3月期 15,895百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		35.00	45.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				35.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,800	4.6	1,190	17.4	1,480	17.4	940	17.3	64.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	14,652,600 株	29年3月期	15,152,600 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	811,966 株	29年3月期	1,324,266 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,834,620 株	29年3月期2Q	14,608,246 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
仕入及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年9月30日)における当社グループを取り巻く景況は、不安定な欧米の政治動向や、中国経済の減速懸念、朝鮮半島・中東等の地政学的リスクなど海外情勢に不透明感が残る一方、国内においては、企業収益の改善による設備投資の緩やかな回復が継続し、堅調に推移いたしました。

当社グループの主力販売先である電気機器・電子部品・産業機械業界では、設備の維持・更新に関わる投資と人手不足に伴う省力化投資が増加し、売上高は全般的に順調に推移いたしました。特に、半導体・液晶製造装置関連の主要顧客においては、半導体の積層化に伴う生産増が継続したことから、売上高は好調に推移いたしました。

こうした環境のもと、当社グループは「もの造りサポーターカンパニー」として、顧客ニーズに直結した営業活動と業務改善の推進による品質の更なる向上、商品安定供給のための在庫拡充等を継続してまいりました。また、メカトロ商材・ロボット関連商材の拡販ならびに、IoT関連市場・メディカル市場への注力を継続してきたことに加え、新設のオートモティブ営業部を軸に自動車業界の深耕を図ってまいりました。再販ビジネスにおいては、新規顧客、新規マーケットの開拓と、既存顧客、既存マーケットの深耕を進めてまいりました。

以上の取組みにより収益の確保に努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は236億61百万円(前年同四半期比24.6%増)、営業利益は7億79百万円(前年同四半期比109.8%増)、経常利益は9億14百万円(前年同四半期比91.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億5百万円(前年同四半期比97.5%増)と前年同四半期に比べ増収増益となりました。

また、当社グループの商品分野別の売上高につきましては、次のとおりであります。

#### ① FA機器分野

制御機器、センサー等が増加し、売上高は137億47百万円(前年同四半期比29.0%増)となりました。

#### ② 情報・通信機器分野

FA用コンピュータ、無停電電源等が増加し、売上高は20億66百万円(前年同四半期比25.1%増)となりました。

#### ③ 電子・デバイス機器分野

コネクタ全般、ノイズ対策商品等が増加し、売上高は26億17百万円(前年同四半期比35.7%増)となりました。

#### ④ 電設資材分野

ケーブルアクセサリ、電線管、ボックス等が増加し、売上高は52億30百万円(前年同四半期比10.2%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて7億98百万円増加し、289億18百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8億48百万円増加し、206億69百万円となりました。

これは主に、電子記録債権の増加4億98百万円、商品の増加3億92百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて50百万円減少し、82億49百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて6億52百万円増加し、128億72百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億40百万円増加し、94億48百万円となりました。

これは主に、電子記録債務の増加9億83百万円、短期借入金金の増加2億38百万円、支払手形及び買掛金の減少7億33百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2億11百万円増加し、34億24百万円となりました。

これは主に、長期借入金金の増加2億4百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて1億46百万円増加し、160億45百万円となりました。

これは主に、当第2四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益の計上6億5百万円、未払配当金の支払4億88百万円によるものであります。なお、自己資本比率は55.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から2億48百万円増加し、34億15百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は3億62百万円の増加となりました。（前年同四半期における資金は3億78百万円の増加）

これは主に、税金等調整前四半期純利益9億14百万円の増加要因、売上債権の増加3億28百万円、法人税等の支払額3億55百万円の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は50百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は10億27百万円の減少）

これは主に、有形固定資産の取得による支出18百万円、無形固定資産の取得による支出16百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は62百万円の減少となりました。（前年同四半期における資金は1億62百万円の増加）

これは主に、長期借入れによる収入10億円、長期借入金金の返済による支出5億56百万円、配当金の支払額4億88百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期下期以降におきましても、当社グループの主力販売先であります電気機器・電子部品・産業機械業界では、設備の維持・更新のための省力化投資が緩やかに継続し、売上高は底堅く推移するものと見込んでおります。

また、半導体製造装置関連の主要顧客への売上高も半導体の積層化を中心とした投資が継続し、堅調に推移するものと見込んでおりますが、第4四半期以降は不透明な部分もあり、現時点では予測が困難であることや海外情勢の先行き不透明感が依然として継続すると見込まれるため、平成30年3月期通期の業績予想については、平成29年8月4日に「平成30年3月期第1四半期決算短信[日本基準]（連結）」で公表いたしました予想数値から修正はありません。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により変動する場合があります。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,188,689	3,436,740
受取手形及び売掛金	11,693,066	11,523,136
電子記録債権	1,978,529	2,476,787
商品	2,338,351	2,730,862
その他	625,678	504,337
貸倒引当金	△4,067	△2,772
流動資産合計	19,820,247	20,669,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,440,737	3,356,350
土地	3,911,613	3,911,613
その他(純額)	148,587	128,433
有形固定資産合計	7,500,937	7,396,396
無形固定資産		
	91,440	89,765
投資その他の資産		
その他	736,042	790,013
貸倒引当金	△28,382	△26,360
投資その他の資産合計	707,660	763,652
固定資産合計	8,300,038	8,249,815
資産合計	28,120,286	28,918,907
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,879,969	4,146,501
電子記録債務	1,884,042	2,867,780
短期借入金	1,071,962	1,310,730
未払法人税等	404,679	341,557
賞与引当金	234,075	266,118
役員賞与引当金	70,000	44,000
その他	462,757	471,512
流動負債合計	9,007,484	9,448,199
固定負債		
長期借入金	1,972,510	2,176,764
役員株式給付引当金	7,614	13,275
退職給付に係る負債	1,068,204	1,070,082
その他	164,790	164,645
固定負債合計	3,213,120	3,424,767
負債合計	12,220,605	12,872,967

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,819,230	1,819,230
資本剰余金	1,631,658	1,527,493
利益剰余金	13,482,387	13,274,862
自己株式	△1,136,947	△700,368
株主資本合計	15,796,329	15,921,217
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65,676	97,521
為替換算調整勘定	20,604	17,024
退職給付に係る調整累計額	12,631	6,316
その他の包括利益累計額合計	98,912	120,862
新株予約権	4,439	3,859
純資産合計	15,899,681	16,045,939
負債純資産合計	28,120,286	28,918,907

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,989,836	23,661,429
売上原価	16,116,313	20,196,456
売上総利益	2,873,523	3,464,973
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	221,786	249,960
給料手当及び賞与	1,004,363	1,059,155
株式報酬費用	1,087	6,794
法定福利費	176,308	190,337
退職給付費用	100,771	68,906
賃借料	161,355	113,576
減価償却費	88,682	115,653
貸倒引当金繰入額	2,177	-
賞与引当金繰入額	204,179	270,387
役員賞与引当金繰入額	27,500	44,000
その他	513,525	566,358
販売費及び一般管理費合計	2,501,739	2,685,129
営業利益	371,784	779,843
営業外収益		
受取利息	893	595
受取配当金	2,441	8,101
仕入割引	103,825	128,455
その他	29,337	26,330
営業外収益合計	136,498	163,482
営業外費用		
支払利息	4,912	6,186
手形売却損	6,088	5,317
売上割引	4,903	7,115
為替差損	4,682	1,487
減価償却費	8,244	7,429
その他	1,949	1,567
営業外費用合計	30,780	29,104
経常利益	477,501	914,222
特別損失		
固定資産除却損	503	138
投資有価証券売却損	-	5
特別損失合計	503	143
税金等調整前四半期純利益	476,998	914,078
法人税、住民税及び事業税	184,356	304,967
法人税等調整額	△14,032	3,278
法人税等合計	170,323	308,246
四半期純利益	306,674	605,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	306,674	605,832



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	306,674	605,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,830	31,845
為替換算調整勘定	△42,608	△3,580
退職給付に係る調整額	17,117	△6,314
その他の包括利益合計	△15,660	21,950
四半期包括利益	291,014	627,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,014	627,783
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	476,998	914,078
減価償却費	96,927	123,083
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,625	36,312
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,500	△26,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,863	1,878
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	1,087	6,396
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,177	△3,317
受取利息及び受取配当金	△3,335	△8,696
支払利息	4,912	6,186
為替差損益(△は益)	122	△6
売上債権の増減額(△は増加)	118,287	△328,351
たな卸資産の増減額(△は増加)	△324,578	△391,822
仕入債務の増減額(△は減少)	396,873	250,675
その他	△270,081	134,814
小計	484,653	715,230
利息及び配当金の受取額	3,500	8,806
利息の支払額	△4,989	△6,094
法人税等の支払額	△104,766	△355,758
営業活動によるキャッシュ・フロー	378,397	362,183
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,066	△18,337
無形固定資産の取得による支出	△3,960	△16,175
有価証券の取得による支出	△1,000,000	-
投資有価証券の取得による支出	△18,154	△18,020
投資有価証券の売却による収入	-	2,580
敷金及び保証金の差入による支出	△2,339	△2,239
敷金及び保証金の回収による収入	4,834	1,817
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,027,685	△50,375
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△305,892	△556,978
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△22,828	△22,834
配当金の支払額	△511,162	△488,401
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,670	6,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,787	△62,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28,346	△1,682
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△514,847	248,050
現金及び現金同等物の期首残高	4,172,889	3,167,689
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,658,042	3,415,740

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年9月26日開催の取締役会決議に基づき、平成29年9月29日付で、自己株式500,000株の消却を実施しております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が101,087千円、利益剰余金が324,955千円、自己株式が426,043千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,527,493千円、利益剰余金が13,274,862千円、自己株式が700,368千円となっております。

## 3. その他

## 仕入及び販売の状況

## (1)仕入実績

(単位：千円)

品目名	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	前年同期比 (%)
F A機器	12,432,620	28.6
情報・通信機器	1,790,778	26.1
電子・デバイス機器	2,247,076	40.0
電設資材	4,118,984	9.9
合計	20,589,460	25.2

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。  
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2)販売実績

(単位：千円)

品目名	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	前年同期比 (%)
F A機器	13,747,045	29.0
情報・通信機器	2,066,847	25.1
電子・デバイス機器	2,617,359	35.7
電設資材	5,230,176	10.2
合計	23,661,429	24.6

- (注) 1 記載金額は千円未満を切捨てて表示しております。  
2 上記金額には消費税等は含まれておりません。